

関東インカレ女子ハンマー投 表彰台流経独占！

5月9日～5月12日にかけて国立競技場にて行われた
第103回関東学生陸上競技対校選手権大会にて
女子ハンマー投に出場した3名が表彰台を独占しました。

【結果】

- 🥇 **コンポン・ミンガモン(3) 60m27**
- 🥈 **大沢 袖月(4) 56m88**
- 🥉 **押部 唯愛(2) 53m11**



〈選手インタビュー〉

1. 関東インカレに出場しての自己評価
2. 流経大3人で表彰台に立った感想

コンポン・ミンガモン

1. もっと良い結果を出せると期待していた。きっと自分自身の興奮とプッシュヤーが強すぎたのかもしれない。そのせいで集中出来ず、自分がやりたかったことができなかった。しかし、試合の結果は自身を立てた目標記録内ではあった。来年は今年よりも良い投げをしたい。
2. 流経大が三人揃って表彰台に立つのは初めてだったので、とても嬉しくて感動した。この大会では、皆さんも表彰台を目指して頑張ったと思う。私たちの努力が形になったことは、寛大なご褒美です。

大沢 袖月

1. 最後の関東インカレで目標の優勝には届かなかった。記録もベスト近く投げただけで、更前にはできなかった。しつくりこなかった試合ではあったが、今シーズンに入り初めて楽しいと思える試合だった。誰よりも一番試合を楽しんでいたせいか、試合でのことを本当に覚えていない。ですが、この舞台で輝けたのは、私だけではなくコーチの方々、選手二人、仲間たちの努力・応援があったからこそその結果だと思える。感謝してもしきれない。ここから流経大が波に乗って、何人も大きな舞台で輝けるようにまた、その波に乗り遅れないように日々努力し続ける。
2. とても景色が良かった。こんな景色を見ることができ、とても感動した。大好きな二人と乗れたことが本当に嬉しかった。この景色を後輩たちにも見てもらいたい、見させてあげたい、そう思った。そのために、後輩たちの指導に手を抜かず今後も共に上を目指して精進していく。

押部 唯愛

1. 流通経済大学の女子ハンマーでは学内でもレベルが高く、「出るからにはしっかりと結果を残さないといけない」という覚悟を持っていた。試合では、しっかりと集中して試合に挑めた。今までにないぐらい試合中の応援や歓声が一番力になったと感じた。技術面や記録に関しては、何一つ満足していないので、この反省や悔しさを忘れずに練習に取り組んでいこうと思った。
2. 関東インカレの目標が三人で表彰台独占という目標だったので、実現できて、とても嬉しかった。コンポンさんは花東やトロフィーをもらいました、インタビューを受けてとても羨ましく感じた。来年も再来年も流経大で表彰台独占したい。